

日本財団 様

事業 ID : 201640258

事業名 : 宮崎県主要沿岸で展開する海洋体験事業

2017年度 助成事業完了報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 1 月 15 日)



特定非営利活動法人

宮崎ライフセービングクラブ

1 事業概要

【目的】

海洋国家日本において、海洋人材を育成する重要な課題が多い中、子どもたちが海を知る機会が少ない。そのため、多様な海洋教育・体験を通じて、海という場所をもっと身近に生活の中で活用したいという思いを育み、「海に関わる仕事に従事したい」及び「この海を、地域を守りたい」という次世代の育成を本事業を通じて育成していく。本事業では、宮崎県内の5市において、県内広域において実施することで2025年海洋教育を各市町村での実施を具現化するために、宮崎県内の産学官及び各教育関係機関との連携を構築・強化し、プロジェクトチームとして邁進させて宮崎県海洋人材育成協議会を設置してチーム宮崎としての連携を図り、人材育成に努めていく。

【目標】

宮崎大学の海洋教育プロジェクトや宮崎ライフセービングクラブのこれまでの知見や開発した教育ツールを利用して、宮崎県内において小学生を対象とした海アカデミーを実施して小学生からの宮崎県内における人材を育成することを目標とする。

【1. 海アカデミーの開催】

海辺は怖いところという概念を払拭するために、事故に遭いやすい子供たちへ「セルフレスキュー」を身に付けさせるとともに、同行する保護者に対し海へのイメージを変えさせる。同時に、海辺に関する様々な学びとスポーツ経験を通し、海事産業または海洋スポーツ選手など、海に関わる仕事をしたいという夢を持つきっかけづくりを行う。また国際的な視野を持ち、既存仕組みにとらわれないグローバルな人材育成を行い、海の民日本人としての「シビックプライド」を持たせる。

【2. 海のユニバーサルスポーツ大会開催】

本事業で子どもたちが得た知力・技能などを検証するために、海で競い合うことを通して、「する」及び「見る」、「支える」それぞれの役割の重要性を実感させる海の大運動会を実施して、子どもたちの海を実感させて、海に親しませる。また、障がいを持った方がもっと海辺にいける（ユニバーサルビーチ）環境づくりも検討していくために、子供たちと一緒に障がい者と健常者などでチームとなり、スポーツ競技大会を実施して、海辺からのスポーツイノベーション創出をしていく。本大会の運営を通してスポーツボランティアの育成にも子どもたちに体験させることも目標とする。

【3. 宮崎県海洋人材育成推進会議】

本事業での事業協力や宮崎県内の人材育成をまとめていく窓口として、推進会議を設置して、今後の海洋人材育成を担うことを目標とする。

【事業内容】

宮崎県にて、海洋スポーツ体験等を通じて、子ども達の「海に関わる仕事に従事したい」「この海を、地域を守りたい」という気持ちの育成を目的に以下事業を実施する。

1. 宮崎県内主要沿岸で展開する海洋体験事業

(内容) a. 海のレスキュー学習（ライフセービング体験、セルフレスキュー等）

b. 海の知識（海の生物観察、海洋環境学習、海の伝統文化、海の経済問題等）

c. マリンスポーツ（スタンドアップパドルボード、サーフィン、ビーチサッカー等）

2 活動報告

1 【UMI アカデミーの開催】

(1) プールウォーターセーフティ・心肺蘇生&防災オレンジフラッグ

■実施日 6月19日(月)

■場所 青島小学校(宮崎市)

■内容 小学校の**保健体育の授業**として水の事故に遭わないための「自分の命を守る」ウォーターセーフティと、万一の事故時の対応として心肺蘇生法とAEDの操作方法の習得、海に近い小学校なので、津波発生時の視認性避難合図「オレンジフラッグ」の紹介と簡易訓練を行いました。

■参加者数 プールウォーターセーフティ 43名
心肺蘇生&防災オレンジフラッグ 37名



(2) プールウォーターセーフティ・心肺蘇生&防災オレンジフラッグ

■実施日 6月21日(水)

■場所 青島小学校(宮崎市)

■内容 小学校の**保健体育の授業**として水の事故に遭わないための「自分の命を守る」ウォーターセーフティと、万一の事故時の対応として心肺蘇生法とAEDの操作方法の習得、海に近い小学校なので、津波発生時の視認性避難合図「オレンジフラッグ」の紹介と簡易訓練を行いました。

■参加者数 プールウォーターセーフティ 47名
心肺蘇生&防災オレンジフラッグ 43名



(3) プールウォーターセーフティ・心肺蘇生&防災オレンジフラッグ

■実施日 6月23日(金)

■場所 青島小学校(宮崎市)

■内容 小学校の**保健体育の授業**として水の事故に遭わないための「自分の命を守る」ウォーターセーフティと、万一の事故時の対応として心肺蘇生法とAEDの操作方法の習得、海に近い小学校なので、津波発生時の視認性避難合図「オレンジフラッグ」の紹介と簡易訓練を行いました。

■参加者数 プールウォーターセーフティ 37名
心肺蘇生&防災オレンジフラッグ 47名

※カメラの調子が悪く写真なし

(4) ライフセービング・パドリングスポーツ

■実施日 7月8日(土)

■場所 青島海水浴場(宮崎市)

■内容 海開きも行われ、海で浮くことや波をとらえてサーフィンをする「ボディーサーフィン」などのライフセービングと、子ども用のサーフボードを使いパドリング(漕ぐ)ことと波打ち際にてサーフィンすること、そして最後に参加者全員でのパドリングリレーなどを行い、海に親しみ、楽しく身を守る知識を身に着けました。

■参加者数 ライフセービング 40名
パドリングスポーツ 40名



(5) ライフセービング

■実施日 7月9日(日)

■場所 みやざき臨海公園 北ビーチ(宮崎市)

■内容 シーガイアトライアスロン大会参加のジュニア・キッズカテゴリーの参加者に対して、入水チェックとライフセービング(浮身・息継ぎ等)を行いました。

■参加者数 ライフセービング 177名



(6) ライフセービング・スタンドアップパドルボード&シーカヤック

■実施日 7月 9日 (日)

■場 所 富士海水浴場 (日南市)

■内 容 屋内にて心肺蘇生法とAEDの取り扱いを伝え、海では浮くことと海になれることを体験しました。自分の命を守ることができるということで、海で楽しむ方法としてスタンドアップパドルボードとシーカヤックの体験を行いました。

■参加者数 ライフセービング 22名
スタンドアップパドルボード&シーカヤック 22名



(7) シーカヤック・ウミガメ教室

■実施日 7月14日 (金)

■場 所 青島海水浴場 (宮崎市)

■内 容 **青島中学校の保健体育授業・総合的な学習の時間**として実施しました。全校生徒が午前と午後、半分がシーカヤック、半分がウミガメ教室という感じで学びました。

■参加者数 シーカヤック 50名
ウミガメ教室 50名



(8) ライフセービング・サーフィン

■実施日 7月23日(日)

■場所 長浜海岸(延岡市)

■内容 延岡市サーフィン連盟に協力していただき、ライフセービングを通して海で事故に遭わないためのスキルを習得し、その後、サーフィンでボードに立って波にのるというところまでの習得を行いました。

■参加者数 ライフセービング 30名
サーフィン 30名



(9) ライフセービング・スタンドアップパドルボード&シーカヤック

■実施日 7月29日(土)

■場所 高松海水浴場(串間市)

■内容 屋外にて心肺蘇生法とAEDの取り扱いを伝え、海では浮くことと海になれることを体験しました。自分の命を守ることができるということで、海で楽しむ方法としてスタンドアップパドルボードとシーカヤックの体験を行いました。

■参加者数 ライフセービング 25名
スタンドアップパドルボード&シーカヤック 25名



(10) ライフセービング・サーフィン

■実施日 8月 2日 (水)

■場 所 青島海水浴場 (宮崎市)

■内 容 海では浮くことと海になれること、そして自分以外の誰かのために行動することを実感するために、レスキュー体験しました。自分と仲間を守ることができるということで、お楽しみのサーフィン体験を行いました。みんな意外と早くボード上で立つことができ、全力で波をとらえていました。

■参加者数 ライフセービング 32名
サーフィン 32名



(11) ライフセービング・パドリングスポーツ・ビーチスポーツ

■実施日 8月 5日 (土)

■場 所 青島海水浴場 (宮崎市)

■内 容 台風接近の為、開催中止

■参加者数 ライフセービング 0名 (50名)
パドリングスポーツ 0名 (50名)
ビーチスポーツ 0名 (50名)

(12) ライフセービング・ビーチスポーツ

■実施日 8月 7日 (月)

■場 所 青島海水浴場 (宮崎市)

■内 容 台風接近の為、開催中止

■参加者数 ライフセービング 0名 (150名)
ビーチスポーツ 0名 (150名)

(13) バナナボート・サーフィン

■実施日 8月 8日 (火)

■場 所 青島海水浴場 (宮崎市)

■内 容 台風接近の為、開催中止

■参加者数 バナナボート 0名 (30名)
サーフィン 0名 (30名)

(14) ライフセービング・パドリングスポーツ

■実施日 8月10日(木)

■場所 青島海水浴場(宮崎市)

■内容 海では浮くことと海になれること、そして自分以外の誰かのために行動することを実感するために、レスキュー体験しました。パドリングスポーツは、チームワークを育むためにリレーやチーム戦などゲームを多用して行いました。

■参加者数 ライフセービング 17名
パドリングスポーツ 17名

※カメラの調子が悪く写真なし

(15) ライフセービング・パドリングスポーツ

■実施日 8月18日(金)

■場所 下阿蘇海水浴場(延岡市)

■内容 海では浮くことと海になれること、そして自分以外の誰かのために行動することを実感するために、レスキュー体験しました。パドリングスポーツは、チームワークを育むためにリレーやチーム戦などゲームを多用して行いました。

■参加者数 ライフセービング 40名
パドリングスポーツ 40名



(16) ライフセービング・サーフィン

■実施日 8月20日(日)

■場所 長浜海岸(延岡市)

■内容 海では浮くことと海になれること、そして自分以外の誰かのために行動することを実感するために、レスキュー体験しました。サーフィンは波にのって横に滑ることを意識して行いました。

■参加者数 ライフセービング 30名
サーフィン 30名



(17) ビーチサッカー・ビーチレスリング・バナナボート

■実施日 8月20日(日)

■場所 青島海水浴場(宮崎市)

■内容 ビーチサッカー日本代表松尾選手による指導のもとビーチサッカーの基本テクニック、試合形式での実技を行いました。ビーチレスリングは地元レスリング愛好家の皆様の協力のもと、体験試合を行う形で実施しました。水上バイクの機動力を体感する目的でバナナバナボートを行いました。

■参加者数 ビーチサッカー 62名
ビーチレスリング 37名
バナナボート 72名



(18) ライフセービング・プールウォーターセーフティ

■実施日 8月24日(木)

■場所 大堂津海水浴場(日南市)

■内容 屋内にて心肺蘇生法とAEDの取り扱いを行い、海で波を活用するボディーサーフィンなどを行いました。クラゲの影響もあり、海水浴場に隣接しているプールにてウォーターセーフティを行いました。

■参加者数 ライフセービング 20名
ウォーターセーフティ 20名



(19) ライフセービング・オープンウォータースイム

■実施日 8月27日(日)

■場所 富士海水浴場(日南市)

■内容 水難救助の一連を展示し、体験版を参加者に実施しました。オープンウォータースイムについては、昨年ドーバー海峡単独往復(日本人初)へ挑戦した節政氏に指導していただきました。

■参加者数 ライフセービング 11名
オープンウォータースイム 11名



(20) スタンドアップパドルボード・リバーウォーターセーフティ

■実施日 9月6日(水)

■場所 石波海岸(串間市)

■内容 串間市立一木小学校の**社会科授業**として実施しました。生徒は5年生と6年生ですが事前に川の水質調査も行い、小学校前の小川からどのような流れで海と繋がっているのかを体感する授業で、学校では初の試みでした。

■参加者数 スタンドアップパドルボード 10名
リバーウォーターセーフティ 10名



(21) ライフセービング・スタンドアップパドルボード

■実施日 9月 8日(金)

■場 所 高松海水浴場(串間市)

■内 容 串間市立有明小学校の総合的な学習の時間として実施しました。全校生徒は大きく2つのチームに分かれましたが、これは運動会の団と同じということで、学校としては海での活動を通して更なる「絆」の構築も目的でした。ライフセービングでは自分の命を、チームメイトの命を守ることを体験し、スタンドアップパドルボードでは海水浴場沖にある島いくなど、冒険的な要素も含む内容としました。

■参加者数 ライフセービング 71名
スタンドアップパドルボード 71名



(22) ライフセービング

■実施日 9月 9日(土)

■場 所 青島海水浴場(宮崎市)

■内 容 放課後等デイ施設利用の子どもたちを対象に行いました。最初は海になれることが厳しいかと思いましたが、ゲームの要素をいれることで恐怖心も軽減され、全プログラムを楽しんでいただきました。

■参加者数 ライフセービング 13名



(23) お味噌づくり講話・お味噌づくり実演

■実施日 10月 5日(木)

■場所 内海小学校(宮崎市)

■内容 宮崎市立内海小学校での**家庭科の授業**として実施しました。講話は海の繋がりなどから話が始まり、日本人の食にいたるまでの内容でした。その後は実演として大豆からお味噌をつくります。事前仕込みは宮崎大学学生と先生が行っていただき、授業内で完成することができました。

■参加者数 お味噌づくり講話 13名



(24) ハロウィンウォーカー(海岸清掃活動)

■実施日 11月 5日(日)

■場所 青島ビーチ(宮崎市)

■内容 ハロウィンウォーカーと題して、海岸清掃を行いながら海辺を歩き、清掃のご褒美として海沿いにあるホテルや企業施設にて「お菓子」をもらえるというプログラムを実施しました。秋という季節での海辺活用として、また環境保全活動として、地域の皆さんと一緒に開催できたことは、非常によかったです。

■参加者数 ハロウィンウォーカー 180名



(24) 防災講話・防災図上訓練演習 (カードゲーム)

■実施日 12月20日(水)

■場所 青島小学校(宮崎市)

■内容 青島小学校の社会科の授業として防災についての講話と、カードゲームを用いた防災図上訓練の演習を行いました。講話では、生徒の皆さんそれぞれに知識があり、こちらが勉強になった感じもありました。本命のカードゲームによる図上訓練演習は、ゲーム上で起きるハプニングを皆で知恵を出し合い前へ進むという設定が、最終的には導き出される結果が全チーム違うという「個性」が発揮される内容となりました。

■参加者数 防災講話 22名
防災図上訓練演習 22名



2 【海と日本プロジェクト 渚のユニバーサルスポーツフェスタ】

■実施日 9月 9日（土）

■場 所 青島海水浴場（宮崎市）

■協 力 a-project 株式会社、株式会社 Little Phoenix

■内 容 命を救う防災スポーツ（競技）を取り入れた海辺の運動会を開催しました。健常者もまた障がい者も幼児も大人も、みんなでチームを構成し、1位2位を競うのではなく、あくまで「力を合わせて命を守った」「みんなで助かった」という価値に基づき競い合いました。参加者はそれぞれのバックグラウンドに関わらず、ビーチや海上を全力だしてスポーツしていました。

- ①ロープレスキュー綱引き陣取り合戦
- ②ビッグサップ水難救助レスキュータイムトライアル
- ③ビーチバナナフラッグス

■参加者数 45名（別でスタッフ15名も競技に参加しました）



3 【宮崎県海洋人財育成推進会議】

■実施日 5月16日(延岡市)、5月17日(宮崎市)、5月23日(宮崎市)
5月25日(都城市)、5月31日(宮崎市)、6月8日(宮崎市)
6月9日(日南市)、6月9日(高鍋町)、6月12日(日向市)
6月15日(延岡市)、6月19日(宮崎市)、6月29日(宮崎市)
7月4日(延岡市)、7月5日(日南市)、7月5日(串間市)
7月6日(延岡市)、7月7日(宮崎市)、7月15日(日向市)
8月9日(宮崎市)、9月4日(串間市)、10月5日(宮崎市)
10月16日(宮崎市)、10月20日(東京都)、12月7日(宮崎市)

■参加者数 約300名

■実施内容 学校の水泳授業、水辺利用促進団体、海水浴場スタッフ、マリンスポーツ団体など、子どもたちの水辺利用をサポートする指導者等に対して、「海アカデミー」の説明、水難事故、心肺蘇生法、海の環境、防災(オレンジフラッグ)等を伝えました。「海アカデミー」ではインストラクターとして参加する方々もいました。



4 【広報及びPR】

(1) ホームページ・ブログでの情報提供

- ・タイムリーな話題提供に心がけ、広報効果を上げました。



渚の交番ホームページ (http://nagisa-koban.com/)



宮崎ライフセービングクラブ CANPAN ブログ (http://blog.canpan.info/lovingocean/)

指導案集

指導マニュアル集

参加者感想文集

領収証